

要求をもとに働きやすい職場を!

第10回市教組大会終わる



あいさつする山本委員長

去る5月29日、さいたま市教組定期大会が開かれました。委員長あいさつ、来賓あいさつを終えた後、昨年度の経過・総括および今年度方針が提案されそれらについて論議しました。以下、意見の概要です。

今日の職場で問題になっていることのひとつに、先生の人数が足りないということがあります。「身体調子が悪いので、病休をとりたい」が、代員の先生が見つからないので、病休が取れない実態が語られました。また、市費臨探の先生や職員が多く、勤務時間が短いので十分打合せができず、授業を進めるのに苦労していることが出されました。勤務時間を過ぎても仕事が終わらないという意見、割振り変更簿はあるが、活用が十分できていない等々の発言がありました。

組合としては本来正規の教職員を増やさなくてはいい日からの授業に役立つと意欲的に学んでいました。また、毎年10月に開かれるさいたま市教研集会は日々の実践に役立つと好評を得ています。職場でこんなことが

女性部では、「私たちが生き生きとしていないで、教室で明るくがんばれない」と、様々な活動に取り組んできました。また、職場での世話役活動でも活躍しています。昨年度は、手作り講習会で「かご作り」「布ぞうり作り」を行いました。また、交流を含め、那須へバスツアーに行き、元気をもち帰りました。

この春に行われた高校入試は、前期・後期の2回実施で行われました。現場では、前期に合格した生徒とこれから受検する生徒と一緒に授業を受けるという何とも言えない状況の中で、授業が行われました。入試の回数を1回にすべきです。入試における高校の定数増も必要です。現場に負担強いいるな

5月に入って、給食費横領の事件が発覚しました。市教委は再発防止検査委員会を設置し、経理上のチェックリストが作られ、栄養職員に細かいことまで全責任のチェックが入っています。

多くの臨探の先生がいます。学校は成り立っています。組合としても正規の先生になつて欲しいと、毎年採用試験学習会を開いて、臨探の先生に声をかけています。今年も7月の試験に合格できるように応援していきます。採用試験のことだけでなく、臨探者の交流もでき、職場の悩みも語り合っています。

4月6日付の朝日新聞に、日本PTA全国協議会、全国市町村教育委員会連合会など、教育関係団体23団体が「少人数学級の実現を！」の意見広告を載せました。昨年の毎日新聞9月14日付に続いて2回目です。私たち教職員組合だけでなく、多くの国民・団体が「40人学級から少人数学級・30人学級」を望んでいます。今年も市議会への請願運動を進め、早期に30人学級を実現していきましょう、と訴えがありました。

異動した職場で、市教組新聞くらい配布しようとして活動を始めました。管理職から言われたが、臨探者でも組合活動は保障されているはずとがんばって配布を始めました。一人でもがんばっているこの発言に参加者は応援の拍手を送りました。

人事調書の特記事項欄に自由に書くことを生かす人事にして欲しい。「家から15分以内」とか「自転車で行けるところ」とか。(広域人事について)安全、安心な学校、修繕料は減らさな

自由に使えようにして欲しい。(導入について)

さいたま市教組新聞

編集・発行/さいたま市教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2010.6.17(木)
No.170

ひとことアンケートにご協力ください

市教委との交渉に声を生かします

寄せられた声

人事調書の特記事項欄に自由に書くことを生かす人事にして欲しい。「家から15分以内」とか「自転車で行けるところ」とか。(広域人事について)

安全、安心な学校、修繕料は減らさな

い！教育課程を保障する予算にしてくだ

さい。教育予算について)

配備されたパソコンで自分のUSBを自由に使えるようにして欲しい。(導入について)